

## 女子部・男子部

### 学びの共有会「まなコレ」

女子部 鈴木 裕大

2021年度より、学業報告会を中止し、年度末に「学びの共有会(まなコレ)」を開催している。運営は生徒と教職員の協働で行い、2023年度も、年度末に複数日に渡って開催する形をとった。

「学びの共有会(まなコレ)」は、「自己評価」と「相互評価」を軸に据えようとする試みのひとつである。国内外を問わず、1年間の学びをセレブレーションする機会を設ける学校の事例を参考に、複数日にわたって実施する取り組みも今回で3回目である。今回は、2024年度の中等部、高等部への共生共学化の準備の影響もあり、これまで2回の「まなコレ」とは運営体制を変更し、初期の準備段階は教職員が主として整えつつ、開催に近づいてから生徒との協働を増やして準備を行った。

方法として「まなコレ」の形式を実施できたのは、これまで自由学園が積み上げてきた様々な教育活動の結果でもある。これからも自由学園が試行錯誤を続けながらも、よりよい教育活動を実施していくことを期待する。

2023年度の「まなコレ」は、女子部・男子部の校舎を主として使用し、3月1日から3日まで実施した。3日間のうち2日と3日は一般公開も行い、2日間で延べ1,500名ほどの方にご来場いただいた。

校内には生徒が取り組んできた共生学プロジェクトと探求的な学びの成果や途中経過を共有するために複数のプレゼン会場、ポスターセッション会場、ワークショップや展示スペース、カフェなどが設けられた。また、生徒たちは来場者からの質問やフィードバックに緊張しながらも丁寧に応えていた。

また、2日目の午後には2023年度からスタートしたインターンシッププログラム「飛び級社会人」の実施報告会も行われ、半年間の活動の内容を発表した。「飛び級社会人」は、学校設定教科である共生学のプログラムで、2023年度は高校2年生が対象のプログラムである。生徒たちは、共生学のコンセプトに賛同していただいた企業や団体にインターンとして参加し、その中で学んだ事柄を「まなこれ」で共有した。

我々を取り巻く環境が変化する中でも、我々がよりよい学びを育むためには、「自己評価」と「相互評価」の重要性はこれからも変わらないであろう。「自己評価」と「他者評価」の